

議会

だより

84

9月定例議会号

平成22年11月
発行 佐呂間町議会



これって何なの・・・どんぐりなの？「森で遊ぼう」サロマ湖畔遊歩道にて10/2撮影

9月定例会

審議した議案・・・2～5 P

決算審査特別委員会質疑の中から・・・6～7 P

町長行政報告・・・8 P

一般質問「奨学金制度について」など3名の議員が質問・・・9～11 P

第4回臨時会

審議した議案・・・11～12 P

町長行政報告・・・12 P

議会ニュース・・・12 P

傍聴者からの声/あしがき・・・14 P



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

佐呂間町ホームページ <http://www.town.saroma.hokkaido.jp/>

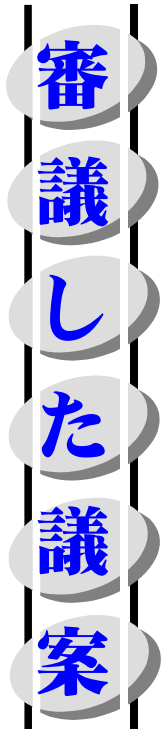
「議会だより」は再生紙を使用しています

第3回定例会

第3回定例会が9月14日から17日の間で開催され、一般会計ほか5特別会計の補正予算と条例改正など議案3件のうち2件を原案のとおり可決、1件を委員会に付託し、人事案件6件に同意しました。

・審議した議案

一般会計 8,251万円を追加補正 農山漁村活性化プロジェクト支援 交付金として2,455万円を計上!



予算

- 平成22年度佐呂間町一般会計補正予算(第5号)
8251万4千円が追加され、予算の総額が45億3725万5千円になりました。
(主な歳入)
・土地改良事業等分担金 398万3千円減
・障害者介護給付費等負担金(国庫) 806万8千円
・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 2455万円
・障害者介護給付費等負担金(道費) 403万4千円
・学校図書購入費等寄付金 300万円
・財政調整基金繰入金 1513万7千円減
・佐呂間浜幌地区単独営農用水整備事業費債 440万円
・道営中山間地域総合整備事業費債 540万円
(主な歳出)
・バス運行委託料
- 平成22年度簡易水道特別会計補正予算(第2号)
937万9千円が追加され、予算の総額が5億2982万4千円になりました。
(主な歳入)
・前年度繰越金 937万9千円
(主な歳出)
・バス運行委託料
- 平成22年度佐呂間町老人保健特別会計補正予算(第1号)
11万6千円が追加され、予算の総額が98万8千円になりました。
- 平成22年度佐呂間町介護保険特別会計補正予算(第1号)
962万円が追加され、予算の総額が5億4010万8千円になりました。
(主な歳入)
・前年度繰越金 962万円
(主な歳出)
・高額介護サービス費 313万円
- ・若佐給水区導水管移設工事 937万9千円
- 平成22年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
818万4千円が追加され、予算の総額が9億1822万3千円になりました。
(主な歳入)
・療養給付費等交付金繰越金 818万4千円
(主な歳出)
・国庫負担金等返還金 818万4千円
- ・バスターミナル改修工事 524万2千円減
405万3千円
- ・障害者自立支援費 1613万8千円
- ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 2455万円
- ・道営土地改良事業等負担金 645万5千円
- ・農業後継者育成支援対策事業費補助金 300万円
- ・バス運行委託料 980万5千円
- ・サロマ湖100Kmウルトラマラソン運営費補助金 500万円
- ・佐呂間町介護サービス事業特別会計繰出金 1143万2千円減

第3回定例会

平成21年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率の報告を受けました。

・ 審議した議案

・ 国庫負担金等返還金

649万円

□ 平成22年度佐呂間町介護サービス事業特別会計
補正予算 (第1号)

609万9千円が追加され、予算の総額が2億5233万円になりました。

(主な歳入)

・ 特別養護老人ホーム利用料

1457万2千円

・ 一般会計繰入金

1143万2千円減

条例

□ 佐呂間町総合介護条例の一部を改正する条例制定
について

人工透析患者が、10月から開始されるふれあいバスの町外路線を利用する場合、運行日が1日おきだったり、人工透析治療の時間に間に合わない到着時間になること等から、人工透析のための通院交通費を助成するための条例改正です。

教育委員の任命、情報公開・個人情報保護審査会委員の任命に同意!!

同意

□ 教育委員の任命につき同意を求めることについて
教育委員として、次の方を選任を同意しました。

浜佐呂間269番地の8

谷川哲也氏

□ 情報公開・個人情報保護審査会委員の任命につき同意を求めることについて

情報公開・個人情報保護審査委員会委員として、次の方を選任を同意しました。

仁倉446番地の2

内藤学峰氏

若佐132番地の3

寺本孝昭氏

朝日30番地

真如智子氏

若佐56番地の1

桐山三津代氏

報告

浜佐呂間221番地の1先
村岡竹雄氏

□ 健全化判断比率及び資金不足比率について

平成21年度決算における佐呂間町健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の審査意見書とともに報告がなされました。

財政健全化審査については、一般会計は黒字のため実質赤字比率、連結実質赤字比率とも比率なし、実質公債費比率も早期健全化基準の25%を大きく下回る12.1%、将来負担比率もなしで、本町の財政は、健全であるといえます。
また、経営健全化審査では、公営企業会計の資金不足比率を見ますが、本町で該当となる簡易水道特別会計、公共下

健全化判断比率

(単位: %)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
- (15.0)	- (20.0)	12.1 (25.0)	- (350.0)

() 書きは早期健全化基準

資金不足比率

(単位: %)

特別会計の名称	資金不足比率	備考
佐呂間町簡易水道特別会計		経営健全化基準 20.0%
佐呂間町公共下水道特別会計		

水道特別会計ともに資金不足比率はなしで、現段階では、2つの企業会計とも経営は健全であるといえます。



第3回定例会

1件の意見書を可決し関係省庁に提出しました。

平成21年度の各会計歳出歳入の決算を認定しました。

・審議した議案

その他

□第4期佐呂間町総合計画について

8月23日町総合計画策定審議会最終答申を受け、第4期総合計画の基本計画がまとまったことから、本計画のタイトルを「青い湖と緑の大地人が輝く未来のサロマ」とする第4期計画の議案が提案されましたが、町総合計画審査特別委員会に付託され、議会閉会中の継続審査となりました。

佐呂間町過疎地域自立促進
進市町村計画の策定について

過疎地域自立促進特別措置法が改正され、今年度より6年間の計画期間の延長となつたことから、計画の内容としては、81事業で87億6763万円の計画が掲載された佐呂間町過疎地域自立促進基本計画が可決されました。

意見書

□B型肝炎問題の早期全面解決を求める意見書の提出について

集団予防接種によるB型肝炎ウイルスへの感染については、平成18年6月に最高裁がウイルス感染の危険性を認識しながら注射器の使い回しを放置したとして国の責任を認めた。

その後、道内の多くのB型肝炎患者が国に対し損害賠償を求め提訴していたが、本年3月札幌地方裁判所は和解勧告を行い、国は勧告を受け入れ協議に応じる方針を決定している。

よって国においては、解決策を示し、早期全面解決に向けた誠実な協議を開始するよう強く要望する意見書が可決され、関係大臣宛提出しました。



認定

□平成21年度佐呂間町各会計歳入歳出決算認定について

平成21年度各会計歳入歳出決算については、議員7名の構成による決算審査特別委員会に付託され、本会議の休会中に決算委員会を開催し、審議を行いました。

その後、本会議において高瀬委員長より、各会計の決算を認定する旨の審査結果報告がなされ、採決の結果、全会一致で認定されました。

決算審査特別委員会での質疑の内容は6、7頁に掲載しています。



区分	最終予算額	歳入決算額	歳出決算額	収支差引
一般会計	5,931,553	5,858,922	5,654,432	204,490
簡易水道特別会計	452,520	454,546	433,387	21,159
国民健康保険特別会計	888,069	905,873	859,385	46,488
老人保健特別会計	4,765	7,134	4,174	2,960
公共下水道特別会計	259,773	260,241	244,291	15,950
介護保険特別会計	489,408	491,251	478,999	12,252
介護サービス事業特別会計	214,100	217,232	209,976	7,256
後期高齢者医療特別会計	64,263	64,893	63,312	1,581
合計	8,304,451	8,260,092	7,947,956	312,136

(単位：千円)

平成21年度各会計
歳入歳出決算状況

第3回定例会

・審議した議案

補正予算・議案 質疑の中から

◎バスターミナルの案内板の設置について

【質問】ふれあいバス開始に伴いバスターミナルを改修するが、改修後のターミナルに交流プラザ「なごみ」を移行すること。

「なごみ」は観光案内もされており、町外から来た人への案内が必要ではないか。

案

【答弁】今回の工事費は改修費のみとなっている。ご提案の看板については、今後考えていきたいと思うが、設置にあたっては、ある程度の風速にも耐えられるものでなければならず、費用も結構かかると思われ、すぐには設置できないこともご理解願いたい。

「なごみ」については、空き店舗対策で始め、途中から観光物産関係も入ってきたもの

だが、当面3月までは「なごみ」の機能をターミナルに移行する。

その後の観光案内は、商工社会のコミセンの事務所と、車の時代の即して道の駅で物産関係をやることとして広報していこうと考えているので、ご理解願いたい。

◎ふるさとまちづくり事業

振興補助金について

【質問】今回東京への旅費として3人分10万5千円を計上したとのことだが、この補助金の

内容は、

【答弁】ふるさと創生事業として東京サロマ会と交流してみていることが、総合計画のまちづくり部会の中で話し合わせ、東京サロマ会が参加している江東区の区民祭りへの参加者を募集した。5名の定員に3名の応募が

あり、旅費の1/2を補助するものであり、区民祭りで東京サロマ会が行う物産販売に対する応援をするもの。

【質問】東京サロマ会も高齢化してきているとのことだが、応援だけでは根本的な解決には

ならないのでは。

【答弁】東京サロマ会と佐呂間町に住んでいる人たちの交流も限られた人になってきているので、それを広げるためには若い人たちもどんどん行ってもらおうということで、今回募集をかけた。

東京サロマ会の人たちも固定化されなかな底辺が広がらないことから、佐呂間からどんどん新しい人たちが来てくれれば、関東周辺に住んでいる方たちに広く周知もできるし、東京サロマ会の会員を広げることにもなること、さら



議会を傍聴してみませんか!

第4回定例会が12月に開催されます。

詳しくは議会事務局(2-1291)まで

お問い合わせください。

第3回定例会

決算審査特別委員会の質疑の主なものを要約し掲載しました。

・決算審査特別委員会質疑の中から



平成21年度の財政運営は、厳しい状況の中、施政方針での重点事業が財政調整基金を取り崩すことなく計画通り実行され、国からの地域活性化交付金を活用し、町民の福祉向上、生活環境の整備がなされ、また交付税等の動向が不透明な中、補助金・交付金等を活用し、必要最小の経費で効率的な財政運営に取組んだと認められます。

決算審査特別委員会質疑の中から

総務費

(質) 職員の時間外手当の支額はいくらか。

出

(答) 一般会計で1千万円、特別会計で300万円ぐらいである。最高額は、簡水業務だが、大雨等の警報等で深夜や早朝でも緊急出勤しなければならぬ場合があるため。

(質) 地域担当員は、自治会ごとに割り振られているが、自治会も高齢化等で行事等が人手不足な現状だが、職員の積極的な参加はできないものか。

(答) 地域担当員は、緊急時の対応や、要援護者等の支援のほか、自治会からの要請があれば行事等の手伝いも可能と考える。

(質) 網走海区漁業調整委員会委員選挙費は、2年続けて支されているが。

(答) 前年から選挙準備の支出

民生費

(質) 社会復帰訓練施設で遠軽と上湧別トンデンというところが何名通っているのか。

(答) 本町から上湧別に通っている方はいなく、遠軽町には4名が通って作業をしている。法律上は町が就労施設を作るとしているが、小さな町では難しいので遠軽地区3町で運営費を負担している。

消防費

(質) 佐呂間の消防体制は昨年までと同様の15名体制にしようにはならないのか。

(答) 佐呂間は今年職員を13名に減らされ厳しい体制で業務を行っていたが、10月から1名増員となり、来年に向け、さらに増員の要望をして

教育費

(質) 就学援助の支給対象物は。

(答) 道で定めている基準で支給できる物は、入学準備にかかる物品やスキー等の体育用品や修学旅行の経費等で、本町でもこの基準に準じて支給対象としている。

(質) 入学準備の経費は、通常3月、4月に出費するが、就学援助の6月支給は変更できないのか。

(答) 支給日については、年1回ということではなく、修学旅行の時期や、給食費などは毎月出している。ただ新規の方は、前年所得が確定となる5月以降の支給となる。

(質) 最近学校教員の管理職も単身赴任が多いが、家族も一緒に来て地域と交流してもらいたい。

(答) 教育委員会としても、その意向は、学校管理職について以前からお願している

第3回定例会

・決算審査特別委員会質疑の中から

ことだが、最近は管理職の奥さんも教員でそちらの学校へ住んでる場合など、単身赴任が増えている状況である。

(質) 温水プールが冬季閉鎖となつて3年目だが、冬季間の運動として、週1、2回でも

業を再開できないか。
(答) 経費的には週1回開けても水を落とすわけにいかず、全部開けても変わらない。

その浮いた経費を別事業に回すことができるし、5年ぐらいはこのまま続け、その後判断したいと考える。

(質) 子どもたちのプール活動も冬季間は途切れるし、またなかなか進まないメタボ検診といわれる中、メタボ解消のためにも、冬季閉鎖の再考を5年たった後と言うのではなく、3年ぐらいで見直して

開けてはどうか。

(答) 開けてほしいという希望があるのもわかるが、冬季間においても武道館のトレーニングルームもあるし、スキーやブルームボールなど北海道の冬のスポーツをやっていたきたい。

(質) 春頃に聞いたとき、21

年度の給食費で支払いが遅れている分があるということだが、その後は。

歳入関係

(質) 固定資産税の滞納の要因

は、また回収の努力は。

(答) 固定資産税の21年度滞納は、69名、1397万円となつている。滞納者については固定資産だけでなく、町道民税、国保税等も滞納しているものも多く、また倒産した会社等や納税義務者が死亡したなどによる滞納もある。

滞納徴収については、日夜面談等の臨戸徴収等も行っているが、滞納者の場合、現年度分も残っており、集金した分は新たな滞納を増やさないよう現年度分にできるだけ入

国民健康保険

(質) 国保会計の不能欠損額、医療機関の不正請求事案と返納金、加算金の収入未済額

とは何か。

(答) 21年度の国保税の不能欠損額は9件238万円。不正請求事案による返納金及び加算金の収入未済額が3件で93万円となつている。内訳は2件が不正請求で不正分の返納と加算金がついている。残り1件は不正請求で加算金はない。

3病院のうち1病院の3万円分は既に廃院となっており回収は難しいが、2病院分は数年後には全額回収できると

介護保険

(質) 年金額18万円の人からも天引きされる介護保険料だが、収入未済額が60万円ぐらゐあるが、件数は。

(答) 滞納となつたうち年金額は8件、ただし特別徴収の件数から引かない、普通徴収の件数は8件、ただし特別徴収の件数も口座振替の申し出から2ヶ月後に引き落とし開始となることなどから、収入未済となる場合もある。

(質) その8件の方たちに納税

相談等の対応は。

(答) 相談については、町道民税、固定資産税、国保税など一般の税金と合わせて、納税相談を徴収対策室でやっている。

ただ、この8名の方は、他の税も滞納しており、収入がないという理由のほか、納税意欲の減退も考えられ、納税意

介護サービス

(質) 今年全国的な戸籍の問題で、介護サービスを受けるべき年齢で受けてない人が戸籍に残っていた問題で、そういう

把握はできているのか。

(答) 本町において、住民票上では102歳が最高年齢で100歳以上は今4名いるが、介護保険や、介護サービスは住民票で拾っているので問題はない。

戸籍上では、最高は132歳で100歳以上は77名。戸籍は住民票と違い持って移動しない人もいるし、戦時中などで死亡届が出ていなく抹消とならない人が戸籍に残って

第3回定例会

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

・町長行政報告

町長行政報告 (要旨)

□農作物の生育状況について

今年、春は低温・天候不順により農作物の作付けや生育が遅れ、6月に入り天候の回復が遅れを取り戻し豊作を期待していましたが、その後の猛暑による農作物への影響が心配されます。

秋蒔き小麦の収穫作業は、穂発芽の発生もなく順調に行われたが、収穫量は異常高温の影響を受け「未熟粒」の発生が見られ、反当り「ホクシン」で420Kg、調整後の販売見込量は304Kg、新品種の「きたほなみ」で510Kg、調整後の見込み量は345Kgとなり、平年を大きく下回る残念な結果になりました。今後、農業改良普及センターと検証して参りたいと思っております。

カボチャは、今年、平年を

異常高温の影響で不作の恐れ!

上回る出来と報告を受けております。ビートは順調に生育しているものの、褐斑病の発生や害虫による被害も出ていることから管理を徹底し、十分な糖分を貯蓄できるように天候を願うところです。

牧草の一番草は、降雨により収穫作業が遅れ収量も平年を若干下回る結果となり、2番草についても全体的に平年を下回るとの報告を受けています。また、デントコーンは、順調に成育し平年を上回る収量になりそうとの報告です。

受託乳量については、猛暑の影響もありましたが、農家の努力もあり個々の乳量は増加しているものの、搾乳農家の減少分を補うまでには至っておらず、計画乳量を下回る生産が続いており、今後目標乳量の達成に期待します。

□漁業について

北海しまえび漁は、昨年より32.6%増の24.4tの計画通りの水揚げで終了しています。

ホタテ採苗は、ラーバ(浮

遊)幼生の出現が遅れ心配しましたが、健苗稚貝を確保することが出来ました。

外海ホタテ漁業は、9450tの生産計画で6月から本操業に入り、平均単価は約100円となっておりますが、オホーツク海全体でホタテの小型化、低歩留まりにより価格は低迷、円高により冷凍ホタテの輸出が悪化している状況です。

養殖ホタテ漁業は、計画の1850tを確保する見通しで、主に乾貝柱向けだが、今年は大サイズが少なく、在庫も少ないことからキロ単価は計画の170円に対し205円の仮精算となっております。

マス漁は今年、低調。サケ定置漁業は、9月4日に解禁になり、オホーツク中部地区の来遊予想は昨年並みとなっております。

□公共事業の執行状況について

8月末における地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業の発注状況は、23件970

0万円で発注率は82%、今年度の主な工事、委託は44件で4億6500万で83%の発注率です。

□特別養護老人ホーム「愛の園」の増床について

5月から旧デイサービス棟の10床増床の工事を行い、10月1日の開設に向け準備を進めています。過日入園者10名が決定し、現在の待機者は23名となっております。

□遠軽地区広域組合消防職員配置について

6月定例会で一般質問があり、管理者や消防長に改善要望を出し、本年度13名体制となっていた佐呂間出張所は、10月1日から当面14名体制との方向性が示され、安堵しているところです。

□サロマ湖の行方不明者について

8月15日にサロマ湖でボートから転落した行方不明者については、8月23日漁業者が水面に浮いているのを発見、その後身元も確認されたところです。詳細は新聞報道のとおりです。

第3回定例会

3名の議員が理事者の考えを質しました。

・一般質問

一 般 質 問



但木早苗議員

奨学金制度について

【質問】

高校、大学や専門学校への進学が多くなる中、そのときに借りた奨学金の返済に苦しんでいる若者が急増している

と

う社会現象がおきています。町も奨学金制度により子どもたちの進学に力を貸しているところですが、なかなか回復しない経済状況や非正規雇用が増えていることを考えると制度の見直しが必要と考え

ま

す。そこで、

現在年間10人程度として

い

る対象人数について

貸付金額が現在月額高校生等1万円、大学生等2万2千

円

奨学金制度の見直しが必要ではないのか！

教育長へ金額、期間等は、返済時を考慮して当面現行どおりとしたい。

て当面現行どおりとしたい。

となっている金額について

現在据え置き1年その後6年間で返済となっているこの期間について

新たに入学準備金の設置について

【答弁】（教育長）

については、過去5年間

をさかのぼっても10名以上の申し込みの年度はなく、また

そのような状況が出ても十分対応はできると判断しており、10名の一定基準は当分続

けたいと考えております。

については、返す時の負担を考えると安易に増額することにはならないし、増額を

望む声もなく、しばらくは現行の金額を続け、見直す必要はないと判断しているところ

です。

については、しばらくはこの期限で実施していきたい

と考えております。

については、需要がはっきりしない状況で制度だけ先

【質問】

5年間取り組む考えを示しているこの事業は1年2千万

円の税金が使われていますが、いろいろな工夫があってもいいのではないかと考えて

きましたが、この間どんな話し

が行われてきましたか。

また事業の点検・評価、問題は何かを検証する必要がある

と考えます。更にこの事業が本当に根本的なところで活性化につながると考えている

の

でしょうか。

合併が破綻したとき様々なことが見直され、お年寄りの楽しみだった風呂さえ有料にしました。それでいてここに

2万円を使う。

町長は不公平感はないと考えているのか、5年間同じようにこの事業を続けていくの

か

お伺いします。

【答弁】（町長）

商品券販売時にアンケートを実施し、その結果を踏まえ商工会会員と協議している

ところです。

月別、業種別の販売状況は商工会で点検、検証していま

すので今後ともこの方式を取っていただきたいと考えて

おります。

また、商品券については私の大きなこだわりです。券の

発行を10月からのふれあいパス等の運行で相乗効果をあげ

ながら商店街の活性化、消費拡大につなげていきたいと考えて

しております。

まず5年間のうちでしっかりとやらせていただき、この取り組みがこのままでいいのか、

検証も含めてしっかりと11月までの間には対応を考えていき

第3回定例会

・一般質問



高瀬 トシエ 議員

佐呂間市街地区の排水対策について

【質問】

環境衛生面での施策が進む一方、市街地の一部地域に数年前から悪臭の発生があり、猛暑の続いた本年は特に状況が悪化、近隣では窓やドアの開放ができず体調不良やストレスに悩まされたと聞いております。多くの住民が「においは道路側溝や排水溝のところから」と感じており市街地の排水状況について説明願います。

悪臭は郵便局周辺からAコープ付近まで流れ、商店街では、お店においがこもる、商品へのおい移りが心配、シンデレラの時には、ダンボールで排水溝をふさぐなど苦慮されておりますが、原因

佐呂間市街地区の悪臭対策はないものか！

町長、道や支庁の指導を仰ぎ、改善を求めよう対応を図っていききたい。

究明調査の実施、対処療法的消臭対策の検討、排水溝の毎年清掃の実施の有無につき伺います。

地元産業には特有の悪臭があり、特定の個人や産業を問題視するものではありませんが、不快感が長期に及ぶなど住民にとって深刻であります。今後に向けた対策をお示し下さい。

【答弁】(町長)

佐呂間市街の下水道は平成10年に供用開始し、接続可能戸数1384戸のうち962戸が接続し、接続可能人数2484名に対し1823名の接続で、接続率は73%となっております。未接続の生活雑排水(雨水含む)の排水経路は3ルートあります。

その一つ、町道29号道路下の高橋土建さん側の未設置者は町道の側溝から排水路を経由して道々富武士佐呂間線のものを含め道々留辺蘂浜佐呂間線の側溝に排水されております。

問題の排水溝は本町の管理下にはないのですが、平成6年に同様の悪臭発生があり遠軽保健所や支庁宛に匿名の苦情が寄せられ現地調査や作業指導が3年継続実施された経過があります。今回の内容が当時と全く同様なことから、ここが要因かと思われま

悪臭の発生原因者が自ら問題解決に対応すべく保健所などを通じ住民の意向を伝え対処する考えであり、今後にお

地域医療充実に向けた取り組みについて

【質問】

高齢化率33%に備える病院の役割、地元福祉施設との連携、医療の充実等々、地元厚生病院の存続は町民の強い願ひであります。

一方、医師の確保が解決されぬままでの病院建て替えには不安も残ります。勤務医の2人体制が構築されなくても病院の建設に着手されるのか伺います。

【答弁】(町長)

これまで医師の確保には全力で努力してきたところであり、残念な状況もありましたが、更に様々な医療関係者や知人を介し医師探しに奔走しているところです。

本年度の損失額は2億円近くが見込まれますが、何とかも病院を存続したい。

佐呂間厚生病院は、旧館は昭和45年の建設で、一部改築をしながら今日に至ります。が、ボイラー設備や配管の腐食、病室の共用スペースの狭さ、耐震基準への課題、更に医師などの労働環境への対応も含め建て替えに向けて厚生連への働きかけを強化して参

第3回定例会

・一般質問



三田 真美 議員

佐呂間町の

観光について

【質問】

歳入を増やす手立ての一つとして産業の振興も大切ですが、「森と湖のまち」を前面に打ち出し観光に力を入れていくために、物産館「みのり」を核とした観光ルートの整備が可欠と考えます。

第一次産業と商工観光を連携させた体験型（農業体験・漁業体験）や滞在型の観光プログラムなどの計画をし、具体案としては「みのり」には近年ドライブに犬連れが多いことから「ドッグラン」などの設置、幌岩山への登山道を整備し登山ブームを考慮して新しい旅行者獲得の模索など、また「キムアネツプキャンプ場」をオートキャンプ場にするなど検討

佐呂間町の新たな観光整備は！

町長「悠林館」や「みのり」を

拠点とした整備を検討していく。

が 必 要 だ と思 います。

佐呂間町のホームページを観光客が見ることもありますが、掲示板に不愉快な書き込みを時々見ます。どのようにチェックしているのか

【答弁】（町長）

観光PRについては、パンフレットや観光物産協会のホームページで情報を発信するとともに、東京や札幌など都市部での観光イベントに参加しています。

また1市2町で組織するサロマ湖観光物産協議会では、外国語版のパンフレットを作成し、海外からの観光客の獲得に向け様々な努力をしています。

サロマ湖展望台への町道の支障木の伐採を行い「みのり」

の外装工事も順次実施していきます。

ルートインも冬季休業しており、不安な面もありますが「悠林館」や「みのり」などを拠点とした観光ルートの整備を第4期総合計画にも明記してあることから検討していきます。

【答弁】（町民課長）

佐呂間町の掲示板について

公共施設の看板について

【質問】

親切な「まちづくり」のためには、町の公共施設の看板が少なく、小、中、高校や役場、スターなどへの案内はあります。どのように考えていますか？

【答弁】（町長）

スポーツの振興について

【質問】

佐呂間小、中学校出身で甲子園初出場の旭川実業高校の3名は「夢と希望」を佐呂間町民に与えてくれました。

今回の活躍は、表彰に値すると思いますが、考えを伺います。

【答弁】（教育長）

佐呂間町のスポーツ表彰については、佐呂間町に在住し、佐呂間町のスポーツの振興発展に寄与した者及び優秀な成績をおさめた者を表彰するといった制度ですが、今回の3名の学生は旭川実業のチームで全国大会出場ということであります。

チームの一員としての活躍は認めるところであります。が、他の市町村の団体である

第4回臨時会

第4回臨時会が7月26日に開催され、一般会計補正予算ほか議案4件、承認1件が審議され、いずれも原案のとおり可決しました。

第4回臨時会 7月26日開会

10月開始のふれあいバス
網走向陽ヶ丘病院まで
週1回の運行に！

審議した議案

予算

- 平成22年度佐呂間町一般会計補正予算(第4号)
699万1千円が追加され、予算の総額が44億5474万1千円となりました。
(主な歳入)
・社会福祉事業寄附金 100万円
・財政調整基金繰入金 300万円減
・消防ポンプ自動車購入事業費債 760万円
(主な歳出)
・福祉事業基金積立金 100万円
・道営土地改良事業等負担金
- 平成22年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)
3475万2千円が追加され、予算の総額が5億2044万5千円となりました。
(主な歳入)
・浜佐呂間簡易水道区域拡張事業費補助金 358万7千円
・浜佐呂間簡易水道区域拡張事業費負担金 857万7千円
・一般会計繰入金 341万2千円減
・簡易水道配水管布設工事費

770万円

佐呂間町簡易水道特別会計繰入金 341万2千円減

債 2600万円

- (主な歳出)
・浜佐呂間簡易水道区域拡張工事 2975万2千円
・浜佐呂間簡易水道区域拡張事業費負担金 500万円

条例

□佐呂間町ふれあいバスの運行に関する条例の一部を改正する条例制定について

10月から開始となるふれあいバスの町外路線のうち、常呂線を網走向陽ヶ丘病院まで運行する網走線に変更する改正を行いました。

その他

- 公有水面埋立の同意について
次の区域の公有水面埋立について同意しました。
・漁港名 富武土漁港
(若里地区)
出願者

- 北海道知事 高橋 はるみ
埋立区域
若里981番地先の公有水面 1021.24㎡
埋立地の用途
物揚場施設用地、養殖作業用地

□専決処分の承認を求めることについて

平成22年度佐呂間町一般会計補正予算(第3号)の専決処分について承認しました。

予算の総額は、381万1千円が追加され、44億4775万円となりました。
(主な歳入)
・前年度繰越金

381万1千円
(主な歳出)
・サロマ斎場火葬炉制御盤改修工事 347万6千円



議会ニュース

第4回臨時会

・ 議会の話題や出来事をお知らせします。

2件の意見書を可決し関係省庁に提出しました。

・ 町長行政報告

意見書



□ 森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書の提出について

森林は、地球温暖化の防止、国土保全や木材利用に国民の期待も増している。しかし国内の林業は生産性が低く、材価も低迷する中、施業放棄が懸念されるなど、わが国の林業、木材産業は危機的な状況にある。

こうした中、今後、森林整備を推進するとともに、森林資源を適切に活用し、森林・林業・木材産業の活性化による山村の再生を図るよう要望する意見書が可決され、関係大臣宛提出しました。

□ 道路の整備に関する意見書の提出について

広大な面積を有する北海道は、広域分散型の地域構造にあり、道民の移動や物資の輸

送の大半を自動車交通に依存しており、道路は生活と経済社会活動を支える重要な社会基盤である。

地方財政が厳しさを増していく中、道路整備に必要な予算を確保するとともに、国の制度見直しの際には、地方にとって自由度の高い制度とするよう要望する意見書が可決され、関係大臣宛提出しました。

町長行政報告

平成21年度
佐呂間厚生病院
の損失負担額は
8600万円!

□ サロマ斎場火葬炉の故障について

6月20日の落雷によりサロマ斎場の火葬炉が使用不能となり、早急な改修工事が必

要となりましたので、381万1千円を専決処分により補正させていただきました。

□ 佐呂間厚生病院の平成21年度の運営結果について

平成21年度の損失額が8640万2千円となったとの報告がありました。

この要因は、内科医師の退職に伴い入院、外来患者の減少が影響と考えられます。

なお損失額については、来年3月末に支出することとなり、平成23年度の特別交付税で損失負担金額が交付される見込みであります。

姉妹都市交流30周年記念式典について

7月15日町民センターにおいて姉妹都市提携30周年記念式典及び祝賀会を開催させていただきました。

この30周年を一つの節目とし、今後ますますこの姉妹都市交流が発展していくよう努めて参ります。

議会広報研修会 に参加!

8月20日に札幌市で開催された議会広報研修会に本町の広報特別委員会の委員が参加しました。

研修会では、広報コンサルタントの深沢徹氏により、議会公開の大原則に基づき、わかりやすい広報誌はどう作ったらいいかを講義いただき、更に6町村の広報誌を実際に評価して、具体的に優れている点、検討・修正したい点を解説していただきました。

今後の広報紙作りのために大いに参考となった研修会でありました。



傍聴者 からの声



富武士 船木淳一さん

9月17日、平成22年町議会第3回定例会の初日、町政全般に渡る一般質問を傍聴する機会を得ることができました。この度の質問者は、男性議員は一人もなく、女性議員3名の質問でありました。

3議員の質問は、日常生活に密接に関連する事項ばかりで、町民の目線で行政に携わろうとする議員の姿勢に好感が持たれ、今後の議会活動に期待するものであります。

質問内容は、保健医療、衛生問題、商工観光、教育、スポーツ等々多岐に渡るものであります。例えば、高齢化率が高い本

町民の関心度が高い医療問題で、医師欠員が続いている厚生病院の経営内容の指摘と、近年中に予定されている病院改築計画との整合性についての質問は特に関心を持って聞いておりました。

商工業の振興発展と商店の活性化を促す目的で始めたプレミアム付商品券の発行では、どの程度商工業者の活性化につながり、寄与しているのかの検討、課題提起や市街中心部で発生した異臭問題に関する排水溝対策に関する件、児童生徒の向学心を応援する奨学資金制度の今後の考え方とスポーツ振興のあり方等、更には、「森と湖のまち」と前面に打ち出して観光に力を入れていく現状から将来に向かっての取組む町の観光振興計画と来町する観光客に対する親切な「まちづくり」対策等々を町長、教育長の考え方に対する質疑には、女性ならではの目線と言葉による質問で、大変好感を覚えました。

再度傍聴する機会があるときは、ぜひ男性議員の地方自治行政問題の研鑽を積んだ内容の質問を期待しています。

請願と陳情について

請願・陳情は国、道、町政に住民の皆さんの意見や要望を反映させる一つの方法で、個人、団体を問わず誰でも提出することができます。

《 記載例 》

(本文)

に関する請願(陳情)

要旨

理由

平成 年 月 日

佐呂間町議会
議長 殿

佐呂間町字 町 番地 印

(表紙)

に関する

請 願 書
(陳 情 書)

紹介議員 印

陳情書の場合、紹介議員は不要です。

あとがき

「思想感」

脳死、家族の承諾で臓器移植提供、本人の意思表示がないことによる、家族が責任感と精神的重圧の中に短時間で判断された思いは、言葉では言い表せないものがあったでしょう。

命と命引き継ぐ尊い人の行為に敬意をしますが、改正されたから尊い行為の風潮が先行し促された医療、知識人の評価に危惧もする。

提供するも善、しないも善行、評価で善悪されない社会のもとで脳死が臓器の固体的な、人の感情の重さとは何かを民に問い、どう理解していくのか意識改革し、社会的に前向きにとらえることを望みたい。

限られた社会環境で生活してきた凡人の自分、感情意識に理解していない今、まだまだできないだろうな。

あなたは、どう思いますか。

(小松正義)